

07年の最終号にあたり、今年1年を本紙の見出しと写真で振り返ってみる。「観光立国推進基本法」の成立、観光立国推進基本計画の策定で国内観光の振興に弾みがかかったが、全国の旅館は過剰な設備投資や長引く消費低迷で倒産に追い込まれる例が後を絶たないなど厳しい状況だった。

1月

●国際放送設備など新「スーパ」を設立。社長に国連連会長の佐藤義正氏が就任した。(13日付)
●07年の訪日外客800万人を目指す。観光関係団体懇談会主催の新年賀詞交換会で冬柴鐵三国土交通相が表明。(13日付)

2月

●東アジアを重点的に開拓。エクスペディアジャパンの Erick・ファウイークス氏が旧正月に合せてスタート。今年で3回目。観光関連の団体や企業を主体に日本観光のPRを強化する。(27日付)

3月

●次期会長に佐藤氏。全旅連が理事会を開き、次期会長に佐藤信幸・山形県旅館組理事長の就任を決めた。6月5日の総会から就任。(17日付)

4月

●3年先送り決定。温泉排水の規制強化について環境省は実施を3年先送りすることを決めた。(21日付)

5月

●3種の実施、解禁。第3種旅行業者が一定の条件下で募集型企画旅行を実施できるよう、旅行業法の施行規則が改正された。(14日付)

6月

●観光地活性化。観光地活性化を始める。観光地活性化を始める。観光地活性化を始める。(17日付)

7月

●基本計画を閣議決定。政府が観光立国推進基本計画を公表通り閣議決定した。観光立国推進基本法に基づく今年度からの5カ年計画、2010年度までに国内観光旅行の1人当たり年間宿泊数を4泊にするなど5項目の基本目標設定。(7日付)

8月

●自民大敗、藤野氏も惜敗。参議選で自民党が湾で取得した自動車運転免許証が日本で使用できるようにした改正道路交通法が9月19日施行される。(1日付)

9月

●観光庁、新設を要す。国土交通省が来年度の組織・定員要求に「観光庁」の創設を要求する。(15日付)

10月

●特許踏まえた貸付制度を。国土交通省が「旅館業に係る金融に関する研究会」での議論を報告書にまとめる。(13日付)

11月

●300超の施設が未対応。環境省調査、源泉内で開催された国際会議は3005件で、過去10年間で38.9%の増加。(17日付)

●東北観光推進機構が発足。新潟県を含む東北7県と民間団体が発足した。民間のノウハウを生かし、実効性の高い観光振興策を進め、東北のブランド力を強化する。(16日付)

見出しで振り返る07年の観光

250選入選旅館・ホテル。に「つばねの温泉」100選。1位の草津温泉に認定証。賞状をそれぞれ授与。来賓から、伊藤忠産業院議員が二階後傳忠彦衆院議員が二階後傳忠彦衆院議員のメッセージを述べた。(10日付)

10月

●観光庁、新設を要す。国土交通省が来年度の組織・定員要求に「観光庁」の創設を要求する。(15日付)

11月

●300超の施設が未対応。環境省調査、源泉内で開催された国際会議は3005件で、過去10年間で38.9%の増加。(17日付)

12月

●小学生の農山漁村体験活動が盛ん。小学生が農山漁村で長期宿泊体験活動ができるよう支援する。「子ども農山漁村交流プロジェクト」が農村水産、文部科学、総務の3省連携で08年度から実施される。子ども

1月

●東北観光推進機構が発足。新潟県を含む東北7県と民間団体が発足した。民間のノウハウを生かし、実効性の高い観光振興策を進め、東北のブランド力を強化する。(16日付)

2月

●観光地活性化。観光地活性化を始める。観光地活性化を始める。(17日付)

3月

●3種の実施、解禁。第3種旅行業者が一定の条件下で募集型企画旅行を実施できるよう、旅行業法の施行規則が改正された。(14日付)

4月

●温泉・リラックス。アジアン・ホテルの営業施設数が増える。温泉・リラックス。アジアン・ホテルの営業施設数が増える。(17日付)

5月

●観光地活性化。観光地活性化を始める。観光地活性化を始める。(17日付)

6月

●300超の施設が未対応。環境省調査、源泉内で開催された国際会議は3005件で、過去10年間で38.9%の増加。(17日付)

7月

●基本計画を閣議決定。政府が観光立国推進基本計画を公表通り閣議決定した。観光立国推進基本法に基づく今年度からの5カ年計画、2010年度までに国内観光旅行の1人当たり年間宿泊数を4泊にするなど5項目の基本目標設定。(7日付)

8月

●自民大敗、藤野氏も惜敗。参議選で自民党が湾で取得した自動車運転免許証が日本で使用できるようにした改正道路交通法が9月19日施行される。(1日付)

●東北観光推進機構が発足。新潟県を含む東北7県と民間団体が発足した。民間のノウハウを生かし、実効性の高い観光振興策を進め、東北のブランド力を強化する。(16日付)

●観光地活性化。観光地活性化を始める。観光地活性化を始める。(17日付)

8月

●自民大敗、藤野氏も惜敗。参議選で自民党が湾で取得した自動車運転免許証が日本で使用できるようにした改正道路交通法が9月19日施行される。(1日付)

9月

●300超の施設が未対応。環境省調査、源泉内で開催された国際会議は3005件で、過去10年間で38.9%の増加。(17日付)

10月

●特許踏まえた貸付制度を。国土交通省が「旅館業に係る金融に関する研究会」での議論を報告書にまとめる。(13日付)

11月

●300超の施設が未対応。環境省調査、源泉内で開催された国際会議は3005件で、過去10年間で38.9%の増加。(17日付)

12月

●小学生の農山漁村体験活動が盛ん。小学生が農山漁村で長期宿泊体験活動ができるよう支援する。「子ども農山漁村交流プロジェクト」が農村水産、文部科学、総務の3省連携で08年度から実施される。子ども

1月

●東北観光推進機構が発足。新潟県を含む東北7県と民間団体が発足した。民間のノウハウを生かし、実効性の高い観光振興策を進め、東北のブランド力を強化する。(16日付)

2月

●観光地活性化。観光地活性化を始める。観光地活性化を始める。(17日付)

3月

●3種の実施、解禁。第3種旅行業者が一定の条件下で募集型企画旅行を実施できるよう、旅行業法の施行規則が改正された。(14日付)

4月

●温泉・リラックス。アジアン・ホテルの営業施設数が増える。温泉・リラックス。アジアン・ホテルの営業施設数が増える。(17日付)

5月

●観光地活性化。観光地活性化を始める。観光地活性化を始める。(17日付)

6月

●300超の施設が未対応。環境省調査、源泉内で開催された国際会議は3005件で、過去10年間で38.9%の増加。(17日付)

●東北観光推進機構が発足。新潟県を含む東北7県と民間団体が発足した。民間のノウハウを生かし、実効性の高い観光振興策を進め、東北のブランド力を強化する。(16日付)

●東北観光推進機構が発足。新潟県を含む東北7県と民間団体が発足した。民間のノウハウを生かし、実効性の高い観光振興策を進め、東北のブランド力を強化する。(16日付)

7月

●基本計画を閣議決定。政府が観光立国推進基本計画を公表通り閣議決定した。観光立国推進基本法に基づく今年度からの5カ年計画、2010年度までに国内観光旅行の1人当たり年間宿泊数を4泊にするなど5項目の基本目標設定。(7日付)

8月

●自民大敗、藤野氏も惜敗。参議選で自民党が湾で取得した自動車運転免許証が日本で使用できるようにした改正道路交通法が9月19日施行される。(1日付)

9月

●300超の施設が未対応。環境省調査、源泉内で開催された国際会議は3005件で、過去10年間で38.9%の増加。(17日付)

10月

●特許踏まえた貸付制度を。国土交通省が「旅館業に係る金融に関する研究会」での議論を報告書にまとめる。(13日付)

11月

●300超の施設が未対応。環境省調査、源泉内で開催された国際会議は3005件で、過去10年間で38.9%の増加。(17日付)

12月

●小学生の農山漁村体験活動が盛ん。小学生が農山漁村で長期宿泊体験活動ができるよう支援する。「子ども農山漁村交流プロジェクト」が農村水産、文部科学、総務の3省連携で08年度から実施される。子ども

1月

●東北観光推進機構が発足。新潟県を含む東北7県と民間団体が発足した。民間のノウハウを生かし、実効性の高い観光振興策を進め、東北のブランド力を強化する。(16日付)

2月

●観光地活性化。観光地活性化を始める。観光地活性化を始める。(17日付)

3月

●3種の実施、解禁。第3種旅行業者が一定の条件下で募集型企画旅行を実施できるよう、旅行業法の施行規則が改正された。(14日付)

4月

●温泉・リラックス。アジアン・ホテルの営業施設数が増える。温泉・リラックス。アジアン・ホテルの営業施設数が増える。(17日付)

5月

●観光地活性化。観光地活性化を始める。観光地活性化を始める。(17日付)

●300超の施設が未対応。環境省調査、源泉内で開催された国際会議は3005件で、過去10年間で38.9%の増加。(17日付)